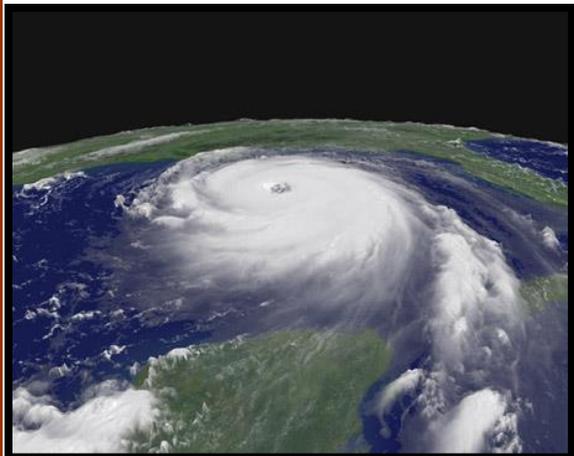


ハリケーンカトリーナ - 緊急時対応と復旧

2005年11月



2005年8月、ハリケーンカトリーナが米国の湾岸地域を荒し回り、1000人以上の死者と数十億ドルの被害を引き起こした。この暴風雨により重要な石油と化学の生産施設が影響を受けた。この暴風雨、2004年の津波、そして他の大災害（洪水、地震、暴風雪、竜巻）では、自然災害による壊滅的な被害から誰もが免れられないことを明らかに示している。それらはプラント事故から数百万の人々に影響する自然災害までのあらゆるレベルで、緊急計画の重要性を気付かせてくれる。被害を最小限に抑え、被災者を救助し、災害から復旧するためには、準備と計画が不可欠である。

知っていましたか

- あらゆる施設(プラント・貯蔵所・倉庫・研究所・事務所)は自然と人が起こす全ての型の事故に対して緊急時対応計画を持つべきである。あなたの計画には天候に関係する事故が含まれているか?
- 誰もが役割を持っている! ある人は消防隊員のような直接的に対応する役をつとめ、他の人は設備の運転停止に責任を負い、さらに他の人は危険を避けて作業場所から離れる必要がある。しかし、誰にも何か行わねばならないことがある!
- 練習訓練は優れた緊急時対応の基本である。そのために、消防訓練や他の試験がある。訓練は批評の目を持って反省すること、何がうまく行ったか、そしてどんなことがさらにうまく行い得たのか?



1999年、トルコの地震後に起きた火災→

←2003年、日本の地震後の二次災害



PSID メンバー 自由検索で見ること: Hurricane

あなたにできること

- 生産施設と地域社会の緊急時対応計画を学び、自身が行うべきことを理解すること。
- 訓練に参加し、真剣に取り組むこと。
- 家族のために個人的な緊急時対応計画を立てること。住んでいるところで、どんな種類の災害(ハリケーン・竜巻・地震・火災・洪水)が起こり得るかを考えること。家族全員がどこに避難し、どの様に行くかを知っていること。離れ離れになった場合、連絡をどう取り戻すかを考えること。
- 優れた緊急時対応は優れた準備の成果なのだ。だから準備をしよう!



緊急対応中に事故を起こさないこと!

AIChE © 2005. 不許複製。非営利的で教育目的のための複写は奨励する。ただし、CCPS 以外による販売目的のための複写は禁止する。連絡先 ccps_beacon@aiiche.org or 212-591-7319

Beaconは通常 アラブ、中国、オランダ、英、フランス、ドイツ、ヘブライ、ヒンディ、イタリア、ポルトガル、スペインの各言語で入手可能